慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	子どもの発達と子育てのダイナミックス : 実験によるパネルデータ構築と分析
Sub Title	The dynamics of child development and parenting : an analysis using panel data constructed through experiments.
Author	赤林, 英夫(Akabayashi, Hideo)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	本年度においても、米国及び慶應義塾大学三田キャンパスのある港区で、親子を対象とした経済実験を実施した。まず、7月10日に、協力研究者Vipul Bhatt氏のいる米国James Madison大学に研究倫理審査結果継続依頼の申請が出された（その後承認）。次に昨年同様、実験場所である米国ウェストバージニア州の小さな町に出張し、協力研究者であるBhatt氏および中村亮介氏と共同で、46親子ペアを対象に、8 月10-12日に実験を実施した。 次に、1 月19-20日、3 月9-10日に、三田キャンパスで、91親子ペアに対して経済実験を行った。どちらの日程においても、研究打ち合わせ及び実験担当のために、協力研究者の田村輝之氏を京都から招請した。また、実験実施に際して17人の方をアルバイトとして雇用（または謝金での支払）をした。長時間にわたる実験の説明の前には、アルバイトに対して数回にわたり打ち合わせも行った。 現在、過去に日本で行った同様のデータと合わせて分析する論文を執筆中である。 We conducted economic experiments at Mita campus and in a small town in West Virginia, US. US experiment was done on August 10- 12th on 46 parent-child pairs with our collaborators, Vipul Bhatt and Ryosuke Nakamura, after the approval of James Madison University. Then we conducted similar experiments on 91 parent-child pairs at Mita campus on Jan. 20-21th, and March 10-11th. Our collaborator, Teruyuki Tamura, was invited from Kyoto, and 17 assistants were employed to support the experiment. We are working to finish our paper with both Japanese and US data.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000006-20180388

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年 4 月 9 日

2018 年度　学事振興資金（共同研究）研究成果実績報告書

研究代表者	所属	経済学部	職名	教授	補助額	1,800　千円
	氏名	赤林 英夫	氏名（英語）	HIDEO AKABAYASHI		

研究課題（日本語）

子どもの発達と子育てのダイナミックス：実験によるパネルデータ構築と分析

研究課題（英訳）

The dynamics of child development and parenting: An analysis using panel data constructed through experiments.

研究組織

氏　名 Name	所属・学科・職名 Affiliation, department, and position
赤林英夫（HIDEO AKABAYASHI）	経済学部・教授
大垣昌夫（MASAO OGAKI）	経済学部・教授

１．研究成果実績の概要

本年度においても、米国及び慶應義塾大学三田キャンパスのある港区で、親子を対象とした経済実験を実施した。まず、7 月 10 日に、協力研究者 Vipul Bhatt 氏のいる米国 James Madison 大学に研究倫理審査結果継続依頼の申請が出された（その後承認）。次に昨年同様、実験場所である米国ウェストバージニア州の小さな町に出張し、協力研究者である Bhatt 氏および中村亮介氏と共同で、46 親子ペアを対象に、8 月 10-12 日に実験を実施した。

次に、1 月 19-20 日、3 月 9-10 日に、三田キャンパスで、91 親子ペアに対して経済実験を行った。どちらの日程においても、研究打ち合わせ及び実験担当のために、協力研究者の田村輝之氏を京都から招請した。また、実験実施に際して 17 人の方をアルバイトとして雇用（または謝金での支払）をした。長時間にわたる実験の説明の前には、アルバイトに対して数回にわたり打ち合わせも行った。

現在、過去に日本で行った同様のデータと合わせて分析する論文を執筆中である。

２．研究成果実績の概要（英訳）

We conducted economic experiments at Mita campus and in a small town in West Virginia, US. US experiment was done on August 10- 12th on 46 parent-child pairs with our collaborators, Vipul Bhatt and Ryosuke Nakamura, after the approval of James Madison University. Then we conducted similar experiments on 91 parent-child pairs at Mita campus on Jan. 20-21th, and March 10-11th. Our collaborator, Teruyuki Tamura, was invited from Kyoto, and 17 assistants were employed to support the experiment. We are working to finish our paper with both Japanese and US data.

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）